



一人ひとりにカーネーションが手渡されました

国東町

生んでくれて、育ててくれてありがとう
原区「さきがけグループ」

国東町原区の地域づくりグループ「さきがけグループ」（本田修二会長・13名）の代表者から、同区老人クラブ（見初稔会長・28名）の女性会員20名にカーネーションの花束がプレゼントされました。

本田会長から「母の日は過ぎましたが、今日は私たちを生んで育ててくれてありがとうございますという気持ちを込めて、カーネーションをプレゼントします。」とあいさつがあり、一人ひとりにカーネーションが手渡されました。森綾子さん（80歳）から「今日は、思いがけないプレゼントをありがとうございました。やさしい人ばかりの、ここ原区が、ますます大好きになりました。これからもよろしく願います。」とお礼のことばが述べられました。



開会行事直後に行われた「もろまき」

国東町

「まちの駅」の開駅を記念して「つるがわまつり」開催

5月5日(土)国東町の鶴川商店街の駐車場で、鶴川本町共栄会（阿部久男会長）主催のつるがわまつりが開催されました。全国各地にできつつある「まちの駅」の市内第1号「おせったいの駅」の開駅を記念して開催され、お菓子の無料配布やお楽しみ抽選会、フリーマーケットや露店が軒を連ね、多くの人で賑わいました。



「梅園先生をたたえる歌」を元気づけ歌う西武蔵小学校の皆さん

安岐町

第219回 梅園祭

郷土の偉人・三浦梅園先生の遺徳を偲び、功績をたたえる「第219回梅園祭」が4月30日(月)西武蔵小学校体育館で、約250名が参加して開催されました。法要の後、西武蔵小学校児童による三浦梅園に関する作文の発表や子ども富永神楽の披露、詩吟の発表や記念講演が行われました。また、会場には短歌や梅園祭記念書道作品も展示され、訪れた人の目を楽しませていました。



武蔵町

むさし幼稚園・武蔵保育園ではなまつり

薫風香る5月8日(火)午前9時30分から、武蔵町糸原のむさし幼稚園（吉高彰生園長・48名）と武蔵町保育園（正本秀英園長・64名）の園児が、同園から市武蔵総合支所を經由して武蔵保健福祉センターまでの約1.3キロを「はなまつりパレード」をして歩きました。

園児たちは、保護者の皆さんに見守られながら、途中、町内の家々で甘茶をふるまいました。また、賽銭箱に集まった浄財は、市社会福祉協議会に寄贈されました。